

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	利光三津夫教授略歴；利光三津夫教授主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1991
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.64, No.1 (1991. 1) ,p.253- 256
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	利光三津夫教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19910128-0253

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

利光三津夫 教授 略歴

- 昭和二年三月十日 東京都に生れる
- 昭和二年九月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 昭和二年十月 慶應義塾大学法学部副手
- 昭和二年四月 東洋大学文学部助手
- 昭和三年四月 東洋大学法学部専任講師
- 昭和三年四月 東洋大学法学部助教授
- 昭和三七年三月 法学博士（京都大学）の学位取得
- 昭和三七年四月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 昭和三九年四月 慶應義塾大学法学部助教授
- 昭和四十年十月 義塾賞受賞
- 昭和四五年四月 慶應義塾大学法学部教授
- 昭和五四年年度 慶應義塾派遣留学生として英国、東南アジアに留学
- 平成元年十月 福澤賞受賞
- 平成二年三月 選挙定年により慶應義塾を退職
- 平成二年四月 慶應義塾大学名誉教授

その間、法制史学会理事、明治大学講師、中央大学講師、東京女学館大学講師を歴任
現在、常葉学園富士短期大学学長

利光三津夫 教授 主要著作目録

凡 例

一、利光教授の御著作は極めて多岐多彩に渉るため、ここでは、教授の著書及び著書に収録されていない論説・随筆等を主要著作として本目録の採録対象とした。

二、前項の方針に従い、教授の著書に既収の論説・随筆等は勿論、書評・辞典の項目解説・解題は本目録の採録対象から除外してあることを予めお断りする。

（加藤 順一）

一、著書（単著）

『法令及び令制の研究』

明治書院、昭和三四年
名著普及会、昭和六三年（復刊）

『律の研究』

明治書院、昭和三六年
名著普及会、昭和六三年（復刊）

『裁判の歴史』

至文堂、昭和三九年
慶應通信、昭和四二年

『律令制とその周辺』

現代史研究所、昭和四六年
慶應通信、昭和四八年

『統律令制とその周辺』

日本経済新聞社、昭和五一年
慶應通信、昭和五二年

『古代日本政治史』

『律令制の研究』

『古貨幣夜話』

『古代日本法制史』

『統律令制の研究』

『中世日本政治史』

二、編著・共著

『日米安保条約肯定論』（共著）

『民事慣例類集』（共著）

『国家と教育』（共著）

『日本法制史』（共著）

『満場一致と多数決』（共著）

『消された英雄たち』（共著）

『法史学の諸問題』（編著）

三、論説

『徳川時代の浦証文について』

『縄地金山』

『名例律称二等親条の復元』

『日本における福祉制度の沿革と現状』（共著）

『康永二年祇園社綿座相論考』（共著）

『東洋文庫所蔵『兼仲卿記』紙背文書所引『令惣記』逸文』（共著）

慶應通信、昭和五六年

慶應通信、昭和五八年

慶應通信、昭和六一年

慶應通信、昭和六三年

慶應通信、平成元年

有信堂、昭和四四年

慶應通信、昭和四四年

第一法規、昭和四七年

青林書院新社、昭和五〇年

日本経済新聞社、昭和五五年

プレジデント社、昭和五六年

慶應通信、昭和六二年

『熊野』地方史研究所、昭和三二年

『河津郷』地方史研究所、昭和三三年

『国書逸文研究』一四号、昭和五二年

『明日にむかって』静岡新聞出版社、昭和六一年

『法学研究』六〇巻八号、昭和六二年

『国書逸文研究』二〇号、昭和六二年

「最後の明法紛失状」

「悔返権についての一考察」

「公家法における法と例」

「職制律監臨官強取猪鹿条について」

「『唐六典』の日本における行用について」

四、随筆・その他

「位至三公」

「うわなり打ち」

「貴種伝承」

「南山移スベシ」

「銭貨禁止令と檢非違使」

「江戸時代における銅錢偽造」

「蓄銭叙位令」

「焼尾荒鎮考」

「和銅前銭貨考」

「所かわれば」

「内田智雄先生と広池博士」

「荷田家の律令学」

「律令制について」

「在満と太申」

『法学研究』六一巻四号、昭和六三年

『法学研究』六一巻五号、昭和六三年

『日本歴史』四八七号、昭和六三年

『法学政治学論究』二号、平成元年

『法学研究』六三巻五号、平成二年

『問題と研究』一卷一号、昭和四六年

『三色旗』四六六号、昭和六二年

『三色旗』四六九号、昭和六二年

『問題と研究』一七巻九号、昭和六三年

『名著サブプリメント』一一号、昭和六三年

『名著サブプリメント』一五号（臨時増刊）、昭和六四年

『名著サブプリメント』一九号（臨時増刊）、平成元年

『三色旗』四九五号、平成元年

『名著サブプリメント』二五号（臨時増刊）、平成元年

『名著サブプリメント』三〇号（臨時増刊）、平成元年

『社会教育資料』一一三号、平成二年

『名著サブプリメント』三八号、平成二年

『三田評論』九一七号、平成二年

『名著サブプリメント』四三三号、平成二年